

IV-7 九州

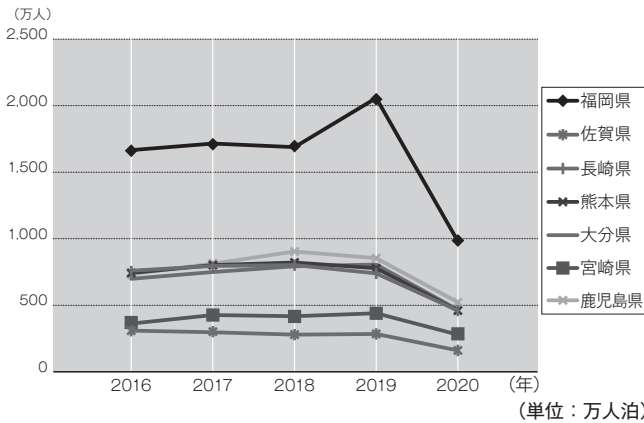
コロナ禍での新たな取り組み
 オンラインツアー、WEB陶器市、貸し切りプランなど
 令和2年7月豪雨により人吉、天ヶ瀬温泉、杖立温泉に被害
 新たなD&S列車「36ぶらす3」の運行開始

(1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると2020年1月から12月の九州各県の延べ宿泊者数は、九州全体では3,479万人泊となり、前年比40.7%減となった(図IV-7-1)。九州内すべての県で延べ宿泊者数は減少しており、特に福岡県は、前年比48.1%減と最も大きく減少した。各県の前年と比べた減少率は以下の通り。

福岡県が48.1%減、佐賀県は34.9%減、長崎県が36.8%減、熊本県が38.0%減、大分県が38.5%減、宮崎県が28.9%減、鹿児島県が38.7%減。

図IV-7-1 延べ宿泊者数の推移(九州)



都道府県名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
福岡県	1,648	1,700	1,673	2,042	981
佐賀県	304	297	275	280	159
長崎県	738	772	786	725	452
熊本県	728	790	805	763	456
大分県	685	735	777	790	457
宮崎県	364	419	416	432	281
鹿児島県	720	799	886	837	513

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

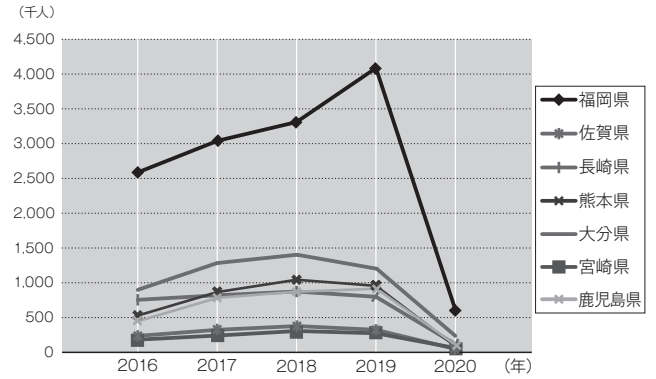
外国人延べ宿泊者数は、九州全体では129万人泊で、前年比85.1%減(図IV-7-2)。各県の前年と比べた減少率は以下の通り。

福岡県が85.4%減、佐賀県が88.2%減、長崎県が80.3%減、熊本県が85.0%減、大分県が86.6%減、宮崎県が83.8%減、鹿児島県が85.5%減。

なお、2019年12月時点では、九州内には11カ国・地域、24都市から週436便の国際航空路線があったが、2020年12月時点では、4カ国・地域、4都市から週10便になった(表IV-7-1)。

また、国際定期旅客船は日本政府から、韓国からの船舶による旅客運送停止が要請されていることにより、2020年3月からすべて運休となっている。

図IV-7-2 外国人延べ宿泊者数の推移(九州)



(単位：千人泊)

都道府県名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
福岡県	2,674	3,112	3,367	4,262	612
佐賀県	250	385	392	359	40
長崎県	725	779	860	753	130
熊本県	519	808	1,013	935	124
大分県	827	1,387	1,442	1,207	142
宮崎県	245	297	327	326	50
鹿児島県	481	744	831	840	115

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-7-1 2019年12月および2020年12月の九州内の国際路線一覧

空港	路線	2019年12月		2020年12月	
		就航都市	便数/週	就航都市	便数/週
福岡空港	韓国	ソウル、プサン、大邱、済州	171	ソウル	4
	中国	北京、上海、武漢、煙台	44	—	—
	台湾	台北、高雄	52	台北	2
	香港	香港	31	—	—
	マカオ	マカオ	4	—	—
	フィリピン	マニラ	14	マニラ	3
	タイ	バンコク	17	シンガポール	1
	ベトナム	ホーチミン	10	—	—
	シンガポール	シンガポール	7	—	—
北九州空港	韓国	ソウル、プサン、襄陽	6	—	—
	中国	大連	3	—	—
	台湾	台北	7	—	—
九州佐賀国際空港	中国	上海、西安	7	—	—
長崎空港	台湾	台北	2	—	—
	中国	上海	2	—	—
阿蘇くまもと空港	香港	香港	3	—	—
	台湾	高雄	3	—	—
大分空港	香港	香港	3	—	—
	—	—	—	—	—
宮崎ブルーゲンピリア空港	韓国	ソウル	6	—	—
	台湾	台北	2	—	—
鹿児島空港	韓国	ソウル	6	—	—
	中国	上海	2	—	—
	台湾	台北	5	—	—
	香港	香港	14	—	—
九州全体	11カ国・地域、24都市(経由地含む)	436	4カ国・地域、4都市	10	

資料：九州内各空港HPをもとに筆者作成

(2) 観光地の主な動向

① 地方・都道府県レベル

●九州における緊急事態宣言等の状況

九州においては、2020年4月7日に福岡県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言(以下、緊急事態宣言)が発令され、4月16日には、九州全県(日本全国)が対象となった。その後、福岡県においては、2021年1月14日～2月28日、2021年5月12日～6月20日に緊急事態宣言、2021年6月21日～7月11日にまん延防止等重点措置が発令された。各県においても独自基準において緊急事態宣言や警報が発令されるなどの状況にある。

●九州各県における宿泊割引キャンペーンの実施

新型コロナウイルスの影響により打撃を受けた観光産業の支援のため、九州各県や九州内市町村において、県民向け、九州在住者向け等の宿泊割引キャンペーンが実施された。

表IV-7-2 九州各県の主な宿泊キャンペーン

	キャンペーン名	対象	利用可能期間
福岡県	「福岡の魅力再発見」九州キャンペーン	九州在住者	2020年7月～9月
	「福岡の避暑の旅」観光キャンペーン	福岡県在住者	2020年11月～2021年12月
佐賀県	佐賀支え愛宿泊キャンペーン	佐賀県在住者、九州居住者	2020年7月～
	佐賀支え愛宿泊キャンペーン第2弾	佐賀県在住者、九州居住者	2020年10月～2021年3月
長崎県	ふるさとで“心呼吸”の旅キャンペーン	長崎県在住者	2020年6月～8月
熊本県	くまもつ泊まるうキャンペーン	熊本県在住者、九州在住者	2020年7月～8月
大分県	大分県民向け旅館ホテル応援割	大分県在住者	2020年6月～8月
宮崎県	みやざき県民「旅して応援！」キャンペーン	宮崎県在住者	2020年6月～9月
鹿児島県	今こそ鹿児島の旅	鹿児島県在住者、九州在住者	2020年11月～3月
	ディスカバー鹿児島キャンペーン	鹿児島県在住者	2020年6月～10月

資料：九州内各県HP等をもとに筆者作成

●一般社団法人九州観光推進機構の取り組み

○2020年4月より、欧米豪プロモーションセンターを設置

一般社団法人九州観光推進機構(以下、九州観光推進機構)は、2020年4月より「欧米豪プロモーションセンター」を立ち上げた。九州は、欧米豪市場において認知度が極めて低い状況にあり、かつ、欧米豪市場は、旅行に求める目的・ニーズ、旅行における行動特性がアジアとは異なることから、欧米豪に特化した施策を進める必要がある。2020年3月には、グローバルサイト「Visit Kyushu」をリニューアルし、欧米豪をターゲットとして、シンプルで使いやすいデザイン等の刷新を行った。また、2020年度はアメリカにレップ(現地PR会社)を設置した。

○コロナに対応した取り組み

2020年6月より九州観光推進機構のBtoC向けサイト「九州旅ネット」に、九州各県の宿泊割引・各種キャンペーンやお得情報をまとめて掲載するサイト「九州のおトクな旅情報」を公開している。合わせて、本サイトでは、各県各市町村のイベント延期・中止情報、観光施設の開館状況、新型コロナウイルス感染防止拡大に向けた取り組みについても掲載し、状況が

変わるなかで九州旅行の最新情報が集約されるようにしている。2020年9月からは、九州観光推進機構としては初の試みであるオンラインツアーを開催した。九州旅行のうち、アクティビティ、温泉、絶景、紅葉、パワースポットを題材とし、計5回実施した。

●「アジアベストレストラン50」の武雄での開催中止(佐賀県)

2020年3月、日本で初めての開催となる国際的な食の祭典「アジアベストレストラン50」(主催：ウィリアム・リード社)が佐賀県武雄市で開催される予定であった。3月22日～24日の3日間にアジアのトップシェフやレストラン関係者、マスメディアなど約700名が参加する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて武雄市での開催を中止し、FacebookおよびYouTubeのオンラインストリームでの発表となった。「アジアベストレストラン50」は、シンガポールやマカオなどアジアの大都市で開催されてきたが、佐賀県が「自然共生型」という独自のコンセプトで誘致に取り組み、初めての地方開催となるものであった。

●令和2年7月豪雨による被害

2020年7月3日から7月31日にかけて発生した「令和2年7月豪雨」により、熊本県、大分県、福岡県などで人的被害や物的被害が発生した。熊本県球磨川水系流域では、人吉市内中心部が浸水するなど、多大な被害を受けた。宿泊施設の被害に加え、球磨川くんだり・ラフティングの船舶や渡渡船場の破損・流出、航路が土砂や石で埋まるなどの被害により、名物である球磨川くだりが運休となった。2021年7月、観光複合施設「HASSENBA」(球磨川くんだり、ラフティングの出発地点)が開業し、発船場～人吉城址の区間の遊覧船が再開した。球磨川くんだりおよびラフティングは、2022年春の再開を目指している。また、玖珠川の氾濫により、川沿いに旅館が建ち並ぶ大分県日田市天ヶ瀬温泉、杖立川の氾濫により、熊本県小国町杖立温泉においても、浸水や土砂崩れ等による被害を受けた。杖立温泉は、2021年2月にすべての宿泊施設で営業が再開したが、天ヶ瀬温泉では、2021年7月現在、温泉旅館組合に加盟する14施設のうち7施設は営業休止中である。

●JR九州、スノーピークと包括連携協定を締結

2020年10月28日に、九州旅客鉄道株式会社(以下、JR九州)と株式会社スノーピーク(本社：新潟県)は、九州全域におけるアウトドアを通じた地域の魅力向上や観光誘致等を目的に包括連携協定を締結した。

その取り組みの一環として2021年4月、JR熊本駅直結の駅ビル「アミュプラザくまもと」内に直営店「スノーピーク アミュプラザくまもと」をオープンさせた。本店舗には、九州発となるレストラン「Snow Peak Eat」を併設している。2021年3月には、JR九州ウォーキングにおいて、JR九州とスノーピークの共同企画である「南阿蘇鉄道のレールウォークと南阿蘇の絶景ウォーク」が熊本県南阿蘇村において開催された。また、JR九州グループの宿泊施設「奥日田温泉うめひびき」(大分県日田市)でのアウトドア体験、スノーピーク直営キャンプ場「スノーピーク奥日田」(2015年7月オープン)でのうめひびき温泉利用優待等を実施している。

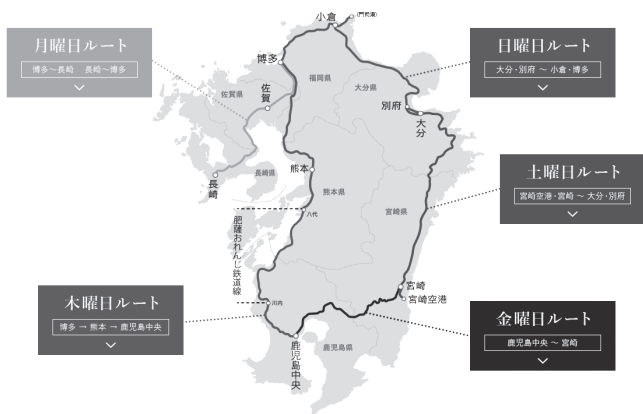
●JR九州 豊肥本線の完全復旧

2016年の熊本地震で被災し、肥後大津(熊本県大津町)から阿蘇(同県阿蘇市)間の27.3kmが不通になっていたJR豊肥本線が、2020年8月に全面開通した。これにより、JR九州の熊本地震で不通となった路線はすべて復旧となった。全線開通に伴い、JR九州は、2020年7月1日～2021年1月11日まで「スイッチオン! 豊肥本線全線開通プロジェクト」キャンペーンを行った。本キャンペーンでは、2016年から熊本県が実施している「ONE PIECE熊本復興プロジェクト」とのコラボにより、漫画「ONE PIECE」のキャラクターボードを熊本駅から宮地駅までの主要な9駅に設置、期間限定きっぷ「スイッチオン! 豊肥本線フリーパス」(熊本～大分・別府(豊肥本線経由)の乗り降り自由なきっぷ)や「スイッチオン! 阿蘇のんびりきっぷ」(「熊本」「別府・大分」からの往復JR券と阿蘇エリアの乗り放題のセット)の販売、期間限定の周遊バス(「スイッチオン! 阿蘇・竹田つまみ食い周遊バス」、内牧温泉から豊後竹田駅までの観光名所を巡るバスと名物グルメクーポンのセット)の販売等を実施した。

●D&S列車「36ぶらす3」の運行開始

JR九州は、2020年10月に、新しいD&S(デザイン&ストーリー)列車「36ぶらす3」の運行を開始した。この列車は、5日間かけて九州7県を巡るように5つの運行ルートが設定されており、走行距離1,198kmで九州を一つの円を描くように環状運転を行う(図IV-7-3)。

図IV-7-3 D&S列車「36ぶらす3」の運行ルート



運行曜日	運行ルート
木曜日	博多→熊本→鹿児島中央
金曜日	鹿児島中央→宮崎
土曜日	宮崎空港・宮崎→大分・別府
日曜日	大分・別府→小倉→博多
月曜日	博多→長崎→長崎→博多

出典: JR九州

●九州電力株式会社による九州観光促進事業の取り組み

九州電力株式会社は、2019年より、九州内の企業とともに外国人旅行者をターゲットに、体験サービス、特産品等を開発し提供する九州観光促進プラットフォーム「reQreate(レクリエイト)」に取り組んでいる。

2020年6月には、株式会社KIZUNA(本社:福岡市)や熊本県山鹿市の平山温泉観光協会と共同で化粧品を開発し、

reQreateおよび平山温泉の旅館にて販売を開始した。

本プロジェクトは、特産品開発を推進し、地域の観光協会に販売したブランド売上の一部をロイヤリティとして支払うことで地域の観光開発財源創出を目指している。2020年7月には、福岡県朝倉市、うきは市、太宰府市、八女市、熊本県北広域本部および九州内企業5社と「九州観光促進コンソーシアム」を設立。2021年1月には、一般社団法人九州通訳・翻訳者・ガイド協会と共同実施で、朝倉市、うきは市、太宰府市、八女市、山鹿市、阿蘇市でオンラインツアーを実施した。

②広域・市町村レベル

●ホテル・MICEなどの複合施設がオープン(福岡県福岡市)

2020年3月に、福岡県福岡市にショッピング・グルメ・劇場・MICEなどが一体となった複合施設「アイランドアイ: island eye」がオープンした。「island eye」には、イベントホール「福岡アイランドシティフォーラム」や、「歌劇ザ・レビュー HTB」(ハウステンボスで結成された女性みの劇団)の新専用劇場である「歌劇ザ・レビューシアター」、レストランやショッピングエリアなどで構成される。2020年11月には、併設ホテル「The 358(サンゴハチ)」がオープンした。

●「NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町」がオープン(福岡県八女市)

福岡県八女市に、2020年4月、「NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町」がオープンした。九州内でVMG HOTELS & UNIQUE VENUESが運営する宿泊施設としては、2019年10月にオープンした「HOTEL CULTIA 太宰府」に続いて2件目となる。「NIPPONIA HOTEL 八女福島商家町」は、「JAPANESE TEA HOTEL」をコンセプトとし、国の重要伝統的建造物群保存地区である八女市八女福島にある元茶商「旧大坪茶舗」と酒蔵「旧喜多屋別邸」の2棟をリノベーションした。宿泊者には、茶園を望むテラスでのヨガ体験や八女福島の伝統工芸巡りなどのアクティビティの提供も行っている。

●ゼンリンミュージアムがオープン(福岡県北九州市)

株式会社ゼンリン(本社:福岡県)は、2020年6月、福岡県北九州市内の複合施設リバーウォーク内に「ゼンリンミュージアム」をオープンさせた。「ゼンリンミュージアム」は、2019年11月に閉館した「ゼンリン地図の資料館」の後継施設であり、「世界と日本の歴史および、歴史を映し出す地図の紹介」というコンセプトのもと展示内容を一新した。展示品は、16～19世紀に造られた西洋製および日本製の日本地図等約120点で、世界で1点しか見つからない貴重な日本図も展示している。なお、来館者に地図の楽しみ方を伝えるZキュレーターというスタッフが常駐している。

●エンターテインメント施設「BOSS E・ZO FUKUOKA」がオープン(福岡県福岡市)

2020年7月、福岡市に「BOSS E・ZO FUKUOKA」がオープンした。施設内には、日本初を含む3つの絶景アトラクション「すべZO(すべぞー)・「つりZO(つりぞー)・「のぼZO(のぼぞー)」、アート集団チームラボの常設ミュージアム「teamLab Forest」、「王貞治ベースボールミュージアム」などがある。絶景アトラクションのうち、「すべZO」は最上階8階、地上40mの

高さからビルの壁面に沿いながら、地上まで滑り降りる全長100mのチューブ型スライダーで、日本初の建造物に付随したチューブ型スライダーとなる。なお、「つりZO」は地上約60mから自然の重力を利用した1人用ぶらさがり式レールコースター、「のぼZO」は高さ9mのクライミングウォールで、いずれのアトラクションも福岡市内の絶景を望むことができる。

●博多湾を周遊するクルージング船、ハウステンボスへ

株式会社西鉄ホテルズは、博多湾を周遊するクルージング船「マリエラ」の運航を2021年1月に終了した。マリエラは、ランチやディナータイムに運行し、海上から福岡の街並みを望みながら船内レストランで食事できるレストランシップで、1993年4月就航から約130万人が利用してきた。

2021年7月からは、「ハウステンボスリゾートシップ マリエラ」として、ハウステンボス発の大村湾内クルーズ船として運行されている。

●コロナ禍での新たな試み、「有田陶器市」のウェブ開催(佐賀県有田町)

佐賀県有田町で例年5月の大型連休に開催されていた「有田陶器市」は、2020年は新型コロナウイルス感染の影響から、「Web有田陶器市」として開催された。開催期間は、2020年4月29日から5月5日と例年の陶器市と同じ期間で設定され、129の事業者が参加した。サイトのアクセス解析によると、25～44歳の男女の合計が全体の6割超と、従来よりも若年の購買層獲得につながった。また、地域別では、最も多かったのは東京都の19.7%で、九州外からは7割と、通常の陶器市より全国に顧客が広がった。売上総額は約2億4500万円になった。

●旅館を活用したワーケーション、サテライトオフィスの取り組み(佐賀県嬉野市)

佐賀県嬉野市は、ワーケーション、サテライトオフィスの取り組みを推進している。

旅館和多屋別荘は、株式会社イノベーションパートナーズ(本社:東京都)とともに、ワーケーションに取り組む企業を誘致している。同社は、和多屋別荘内の1室を改装し、2020年4月より10年契約で入居、サテライトオフィスを設けた。入居料は月70万円で、うち4分の3を佐賀県および嬉野市が企業誘致の優遇措置として負担している。

2021年4月には、新たに和多屋別荘にサテライトオフィスを設ける4社(AnyMind Japan株式会社、ENGAWA株式会社、ライフエンディングテクノロジーズ株式会社、株式会社ナノ・アソシエーション)と「4社合同進出協定締結式」を行った。なお、(株)イノベーションパートナーズは、和多屋別荘の事業パートナーでもあり、和多屋別荘内に予約制で一般客も利用できるレンタルオフィス、ワーケーション会員専用のコワーキングスペース、ワーケーション利用者の滞在等を支援する「ワーケーションコンシェルジュ」を設置している。

●熊本城の特別公開第2弾開始(熊本県熊本市)

2016年4月に発生した熊本地震により熊本城(熊本県熊本市)は、重要文化財建造物13棟すべておよび復元建造物20棟すべてが被災、石垣の崩壊という被害を受けた。2016年5月後半から復旧に向けた工事が着手され、順次、復興状況を特別公開している。2019年10月に「特別公開第1弾」(北ルート、工

事用スロープから天守閣の見学可能)が行われ、2020年6月より「特別公開第2弾」が開始された。第2弾では、全長約350m、高さ6mの空中回廊「特別見学通路」が設置された。空中回廊の設置により、下から眺めていた石垣を間近に見学することができる。さらに、2021年6月に「特別公開第3弾」として、天守閣内部公開が開始された。復旧工事は、熊本城のシンボルである天守閣から優先的に進められ、復旧完了は2038年度を予定している。

●コロナ禍での新たな試み、マゼノ渓谷貸し切りプランの造成(熊本県南小国町)

株式会社SMO南小国は、2020年5月10日から6月30日まで、熊本県南小国町にあるマゼノ渓谷を1日1組限定で貸し出すプランを造成した。マゼノ渓谷は、「牧野(放牧場)」であることから、通常は立ち入ることができないエリアであり、これまでは新緑と紅葉の時期のみ期間限定で開放していたが、2020年は新型コロナウイルスの影響により、新緑の時期の開放を見送ることとなった。そのようななか、三密を避け、自然に触れることができるプランとして牧野組合と観光協会により造成された。

●コンセプトホテル「GALLERIA MIDO BARU」のオープン(大分県別府市)

2020年12月、現代アートと建築、別府の美しい自然環境を融合させたコンセプトホテル「GALLERIA MIDO BARU」がオープンした。

「体験価値を高めるサイトスペシフィックなホテル」をコンセプトとし、ホテル内には、アーティスト12組による別府を題材とした作品が設置されている。また、コンセプト立案・作家キュレーション・アートキュレーション等は、別府において、「温泉混浴世界」や「In BEPPU」などの実績があるNPO法人BEPPU PROJECTが担当した。全35室で、各室に別府湾を見下ろす半露天風呂が設置されている。

●山をまるごと貸し切りプランの開始(宮崎県日南市)

2020年8月より、宮崎県日南市の株式会社KING TOURISM JAPANは、1日1組限定で、山をまるごと貸し切りのできるプランを販売している。このプランでは、コテージ付きで標高90m、12,000㎡の山を貸し切ることができる。コテージは10人まで宿泊可能で、敷地内ではタケノコ狩りや花火・焚火が可能である。

●都井岬観光交流館「PAKALAPAKA」オープン(宮崎県串間市)

2020年4月、宮崎県串間市に都井岬観光交流館「PAKALAPAKA」がオープンした。岬馬の生態や都井岬に生息する動植物のガイド、馬追いや定置網体験などのエコツーリズムのVR(仮想現実)体験、飲食等のサービスを提供している。

●1泊100万円のスイートルームの提供を開始(鹿児島市)

SHIROYAMA HOTEL kagoshima(鹿児島県鹿児島市)は、2020年10月より、1泊100万円のスイートルームの提供を始めた。2017年度から約60億円をかけ耐震改修工事と客室改装を実施。本工事により、総客室を減らしながら高単価の客室を増やし、富裕層の取り込みを進める。2022年には、広さ200㎡あるインペリアルスイートを21室にまで増やしていく。

(一般社団法人九州観光推進機構 野間恵子)